

【別紙】 令和2年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立 青木中 学校)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	心を磨く(徳力)・身体を磨く(体力)・智性を磨く(知力)
目指す学校像	心の教育を基盤とする「文武両道」を実践し、地域から信頼される学校

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	
学校関係者(教職員を除く)	4名
事務局(教職員)	2名

学 校 自 己 評 価					
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 ( 令 和 3 年 1 月 2 7 日 現 在 )	
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
組織運営	・2,30歳代の教職員が全体の半数以上を占め、全教職員が本校在職6年未満である。課題として、現状を踏まえ、成果や実績は引継ぎつつ新たな体制にあった人材育成と組織改善を実施していく。	・青木中の教育活動の核となる道徳教育の推進を委嘱研究本発表にむけて全校体制で組織的に取り組み、各分掌組織の連携を密にし、「ハートフル青中」の取組をより一層推進する。	・来年度に延期された本発表を核とし、全校体制で委嘱研究を行い、各分掌組織が有機的に機能するよう、全教職員の共通理解・共通行動の徹底を図る。	・コロナ対応に追われたが、伝統を継承しつつ、新たな取組を始めることができた。教職員もそれぞれの経験年数に応じた分掌の仕事を行えた。	A ・働き方改革とコロナ対応で改革した部分を合わせ、より効率的で計画的、かつ、組織的な対応を目指していく。 ・コロナで延期された研究委嘱本発表に向けて、全校の協力体制を強化していく。
教育課程	・生徒が主体となる授業を展開するための見直しと振り返りのある授業は、振り返りの部分に教員によって効果に差がある。個に応じた指導の推進と家庭学習を中心とした、学習習慣を確立させていく点に課題がある。	・振り返りによって、生徒が次時への興味・関心・意欲を高めつつ、本時の学習内容の定着や深化を図るための家庭学習に意識的・計画的に取り組めるようにする。	・振り返りの時間の効果的な活用について創意工夫を重ねる。まず、学習内容の定着の確認である。さらに、学習内容の深化発展を促す新たな疑問の投げかけや、家庭学習へつながらる指導と指導法を改善する。	・毎時間ごとの課題の提示の仕方、振り返りから考える授業づくりについて研修を行った。経験年数により、授業づくりの違いはであるが、全体のさらなるレベルアップを目指していく。 ・家庭学習の実施については、継続して取り組む。	B ・一概に家庭学習と言っても、生徒の実態によって差がある。今後は、生徒の理解力や学習の定着度を見極め、家庭の協力を得ながら進めていく。 ・GIGAスクール構想に係り導入された個人PCも有効的に活用していく。
開かれた学校づくり	・土曜公開授業をはじめ、ふれあい授業、学校地域連絡会、PTAバザーなど地域の人々を学校に招く取組は充実している。また生徒は、夏季休業中の朝のラジオ体操を始めとした様々な地域の取組に積極的に参加している。	・令和3年度学校運営協議会を設置し、コミュニティスクールとしてスタートする準備を行う。 ・学校HPなど、学校からの発信を増やしていく。	・関係者への説明会、人選、勉強会と積み重ね、令和3年度のスタートに結びつける。 ・学校HPと併せて、市の保護者メールも活用し、情報を発信する。	・コロナ禍により、行事が中止され地域との直接的な交流は十分できなかった。 ・学校HP・市の保護者メールを活用した情報発信はできた。 ・学校運営協議会設置に向けての準備を進めることができた。	B ・コロナ禍ではあるが、感染予防対策をとったうえで、地域との直接的な交流の機会を考えていきたい。
教職員の資質向上	・人事異動等により初任者や若手教員が増加する一方、中堅教員が極めて少ない傾向がより顕著となり、年齢の二極分化が進んでいる。課題として、若手教員の育成が喫緊の最重要課題である。	・管理職のリーダーシップのもと、ベテラン教員の指導力を若手教員へ継承させ、学校全体の指導力を向上させる。	・若手教員を各種主任等の中心に積極的に充て、育成を図る。 ・諸会議等で、積極的な意見交流させることで、視野を広げさせる。 ・服務規律を確立し、危機管理意識を高める。	・経験年数、それぞれの教員の意欲や特徴に応じて仕事を割り当て経験を積ませることができた。 ・年齢的にも若い教職員が多いことから、社会人としての視野も広げていきたい。	A ・多様化した生徒指導に対応するため、参加型の研修を企画するなど、生きて働く研修を充実させていく。 ・人事異動によって新たに着任した教職員にも、本校の教育活動を理解させる。
施設・設備等の管理	・清掃は行き届いているが、校舎や施設設備の老朽化が進んでいる現状の課題がある。学校図書館の改修が終わり、今後蔵書を増やしたい。 ・教材で活用する紙、インクの使用量が多い。	・学校図書館司書を配置することにより、蔵書を増やし、生徒が足を運びたい図書館を目指す。 ・校務PCの活用を推進し、ペーパーレス化の促進、無駄のない予算執行をおこなう。	・計画的な修繕活動を行う。 ・予算面で図書購入費を十分に確保し蔵書を充実させる。 ・校務PCの活用し、効率的な職務を遂行する。	・コロナ禍でもあり、図書館の活動には制限があった。 ・トイレ、下水道など大規模な修繕箇所もあり、市教委と連携をとりながら今後も計画的に進めていく。 ・費用対効果の検証結果を有効に活用していく。	A ・予算に限りがあるが、清掃等学校の努力で賄えるものは努力していく。 ・職員・来賓用トイレの改修なども視野に入れ、計画的な修繕に取り組む。

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	令和 3 年 2 月 1 3 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>・学校評価の集計結果からも、ほとんどの生徒が青木中学校の生徒でよかったと感じていることがわかった。今後も、生徒にとっての青木中学校であってほしい。</p> <p>・学業面で優秀であることは、素晴らしいことである。学習の理解・定着に時間が掛かる生徒も含め、全ての生徒が満足いくような学習指導を続けてほしい。</p> <p>・町会等の行事も一切中止になり、地域そのもののつながりもない状態が続いている。来年度から始まる学校運営協議会の計画にも影響がでるのか気がかりである。 ・コロナ禍の中、家庭内の様子が地域にも伝わってこない。ストレスを抱えている親もいると思われる。アンケートなどで子供の声を吸い上げてほしい。</p> <p>・私立高校野球部の主将が、犯罪にかかわった事件があった。是非、自分たちの問題を自分たちで解決できる生徒を育成できる教員を育ててほしい。</p> <p>・現状通り、計画的に修繕を進めてほしい。</p>	